

報告 家庭ごみ排出量

町内から排出された家庭ごみの量について、平成28年度第4四半期分と年度総量をお知らせします。

■清掃センターに搬入されたごみ排出量と集団資源回収量

単位：t

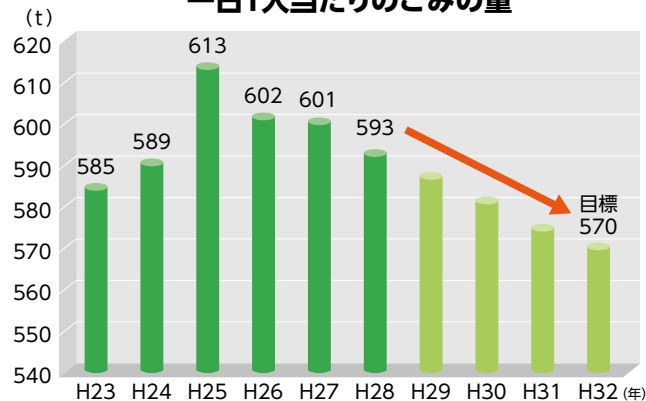
	1月	2月	3月	平成28年度総量	平成27年度総量	対前年度比
燃やせるごみ	306	252	340	4,349	4,347	100.1%
生ごみ	62	49	54	777	839	92.6%
資源ごみ	61	51	67	792	838	94.5%
大型・不燃ごみ	23	19	37	488	503	97.0%
その他	1	3	7	38	39	97.4%
計	453	374	505	6,444	6,566	98.1%
集団資源回収量				812	838	96.9%
1人1日当たりのごみの量 (集団資源回収量を含む)				593g	601g	98.8%

■ごみ減量の目標

☆家庭から出るごみの量の目標

平成32年度までに、1日1人当たりごみ発生量を570gまで減らすことを目指します。

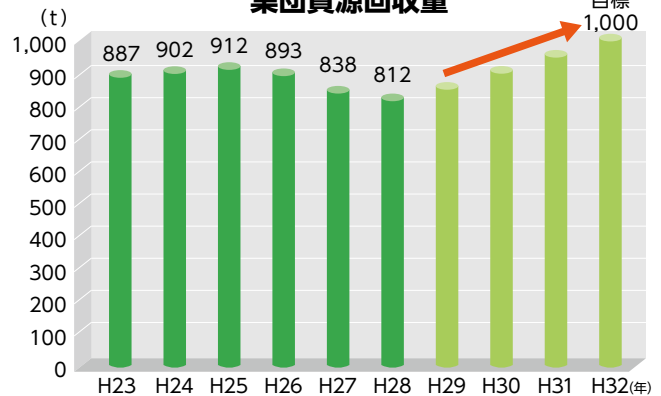
一日1人当たりのごみの量



☆集団資源回収に出す資源の量の目標

平成32年度までに、年間1000トンを目指します。

集団資源回収量



ごみ減量の目標達成への3ステップチャレンジ

ステップ1☆

- ・レジ袋1枚が約10gなので、マイバッグを毎日持ち歩きましょう。
- ・ペットボトル1本は約30g。マイボトルを持ち歩けばごみの減量につながります。

ステップ2☆

- ・生ごみの約80%は水分です。しっかりと水切りをすることで、ごみの減量を進めましょう。
 - ・物を買うときは、必要なものを必要な分だけ買いましょう。3Rの1つ、「リデュース」(※)から始めましょう。
- ※リデュース…ごみを出さないように行動すること。

ステップ3☆

- ・ごみの分別を徹底することで、「燃やせるごみ」を資源としてリサイクルしましょう。

〈ポイント〉「燃やせるごみ」は、ごみ集積所から清掃センターに運ばれ、燃やされて「灰」になります。一部はメタル

やスラグなどの形でリサイクルされますが、大半は灰となり埋め立てられるだけです。そして「埋立地」には限りがあります。

皆さんが集積所に出した「燃やせるごみ」は、本当に「燃やせるごみ」だけですか？

下のマークのついたものを分別し、緑色の「資源ごみ」の袋に入れて出すと「燃やせるごみ」が減らせます。



さらに、その資源ごみを集団資源回収やスーパーなどの店頭回収に切り替えると、それは「資源」となります。

「混ぜれば“ごみ”。分ければ“資源ごみ”。さらに、出し方を変えれば“資源”」

あなたの行動が変われば『もの』のその後が変わります。100年後に、あなたはなにを残しますか。